

12月の園だより

春明保育園
令和2年12月1日

保育目標

(目指す子ども像)

- ・挨拶のできる子
- ・心身ともに健康な子
- ・思いやりのある子
- ・自ら考え、進んで行動できる子

いよいよ師走。今年も園庭の柚子がたくさん実っています。これから本格的な冬を迎えます。

コロナ渦ですが、今月は、幼児部のみクラス毎に発表する生活発表会(表現)を予定しています。どんな表現をしてくれるかととても楽しみです。

また、例年のとおり、冬至には柚子狩りをします。ご家族で柚子湯に入るのを楽しみにしててください。

先月末、らいおん組、きりん組、ぱんだ組、うさぎ組の子どもたちが初めて園庭でみかん狩りをしました。今までは数個しか採れませんでした。今年なんと103個のみかんが収穫でき、子どもたちは大喜び。翌日、給食で全園児、全職員が美味しく食べました。

今年も残すところ1か月となりました。新型コロナウイルスの終息が叶わずお願いばかりでしたが、ご協力のおかげで園関係者の発症者は一人もなかったのが良かったです。年が明けてもしばらくは新型コロナウイルスの自粛が続くのかと思います。今後ともご家族や職場で何か変わったことがあった場合には、必ずお知らせいただきますようお願いいたします。ご理解とご協力の程よろしく申し上げます。

どうぞ、よいお年をお迎えください。そして、新年には元気な姿での登園をお待ちしています。

【12月の伝言板】 年齢別の遊びとおもちゃについて考えてみましょう(2)

今月は <10か月から1歳半頃の子ども> です

○環境を探索して物に触り動き回る時期 ○大人とのやりとりを楽しみ、まねが盛んな時期

○全身を大きく活発に動かす時期

<この時期の遊び>

○物を倒す、ひっくり返す、物を詰め込む、落とす、バラバラにする、投げる。 ○スコップやスプーンなどの道具を使い始める。
○歩く、高いところに乗る、降りるなど体を動かす。 ○「飛行機ブーン」、「高い高い」など体を動かしてもらう。 ○「もってきて」「ちょうだい」など大人とのやりとりをする。 ○喃語を話す、歌に合わせて体を動かす。

<この時期のおもちゃ>

○ビルディングカップ(転がす、倒す、積み重ねる、入れ込む) ○積み木(倒す、積む、並べる、入れ物に入れたり、出したりする)
○ボール ○人形と布 ○段ボール箱(出たり入ったりする)

<この時期に向かないもの>

○おもしろいテレビ番組、DVDなど体をじっとさせるもの。 ○音や刺激を一方向的に与えて探索活動の邪魔をするもの。 ○新規すぎるもの、リアルすぎるもの。 ○子どもの行為に関係なく動くもの。○穴入れ、パズルなどのうち、操作が難しすぎるもの。

行事予定

- 8日(火) 消火・避難訓練
- 9日(水) 0歳児健診・身体測定(0歳児)
- 10日(木) 生活発表会(表現) 予行日
- 12日(土) 生活発表会(表現)
- 18日(金) 柚子もぎ(幼児クラス対象)
- 22日(火) 身体測定(1~5歳児クラス)
- 23日(水) 0歳児健診

(年末年始について12月29日~1月3日までお休みとなります。)

12月生まれのおともだち

みなとくん	4さい	りおなちゃん	6さい
けんとくん	4さい	ちひろちゃん	6さい
えいじくん	4さい	れいなちゃん	6さい
あやたくん	5さい	かいせいくん	6さい
じゅうたろうくん	5さい		

今月より各クラスの様子を載せていこうと思います!

今月は**幼児クラス**の様子です♪



ある日のことでした。

部屋で遊んでいると、らいおん組の子が、先生、あそこでぱんだ組の〇〇ちゃんと、〇〇ちゃんがケンカしてるよ!来て!と教えにきてくれました。あまりにも真剣だったので様子を見に行くと、その二人の周りには、沢山の子ども達が集まって様子を伺っていました。その群衆の中で、「どうしたの?」何があったの?とらいおん組の子がお互いの言い分を何度も聞きだし、解決に導こうとしていました。ところが当の本人達は、一言も言葉を発せず、両者は互いに睨み合い!自分が正しい!と主張を貫いているわけです。おかしいことに、その足元には我関せずで、仲の良い仲間、電車を走らせて遊んでいるきりん組。これが、幼児の日常なのです。

今、らいおん組は年長児として、自分のことだけでなく、人の為に役に立つことに喜びと誇りを感じています。昼寝の時間になると「とんとん隊」と名付けられた、パンダ組の添い寝に登場します。寝かし方にそれぞれコツを見出し、この子を寝かしつけるには...と他の子にレクチャーしていたりします。きりん組は、これまで「自分の世界」から一步踏み出し、今は気のあった友達と「仲間」という関係を築き、毎日が楽しくて楽しくて仕方がないのです。だから、給食の座席を決める際にもまずは、友達の座る場所を確認してから速攻ダッシュが展開されます。いつもそばにいるのに、いつでも一緒にいたいのです。ぱんだ組さんは、兄弟で言えば一番年下。時には年長さんに甘えたり、本当は自分で出来るんだけど「これやって」作戦で、年長さんに手伝ってもらい、その気持ちに答えてもらったことで、信頼関係が築かれいています。このように、自分の意見や思いを直接ぶつけられるということは、今の環境を受け入れてくれているんだなと思っています。51人が生活しているので、毎日何かしらのハプニングやエピソードがありますが、賑やかながらそれも健康である証として、面白、楽しく過ごしています。